



船橋市議会議員 (市民社会ネット)

# 浦田 秀夫 通信

第 70 号 (2009 年春季号) 事務所 船橋市高根台 6-38-9 TEL&FAX 047- 461-1350  
議会報告版 自 宅 船橋市松が丘 4-31-5 TEL&FAX 047- 466-6019

## 救急患者を断らない病院が必要

### 悪化している救急搬送時間

1 昨年の 12 月議会で市民から「患者の搬送先が決まらず、救急車が現場からなかなか出発しない」という苦情を受け、その改善を求めた。

今回同じような苦情を受け調査をしたところ、救急車が現場に到着してから病院搬送までの時間が延び、病院に受け入れを断られる回数が増えていることが判明した。

こうした現状を改善するためには、救急隊から病院への問合せ方法の改善と「救急患者を断らない」病院の確保と医療体制をつくることが重要ではないかと本会議で質問した。

福祉局長は「一病院が全てを受け入れることは困難。地域全体の医療機関で取り組まなければいけない問題で、連携をさらに強化し対応していく」と「救急患者を断らない」病院の確保に消極的な答弁。

### まず医療センターで受け入れを

この答弁に納得せず、健康福祉委員会では医療センターで、救急患者を断った事例や理由を質した。医療センターでもベットが満床などの理由で救急患者を断った事例があることを認めた。

さらに、予算委員会では救急患者を断らない医療を実践している病院を紹介して質問。

2 次救急を担う K 市の病院場合、地域の病院や医師と密接な連携を図って、まず、すべての患者を受け入れ、緊急処置室で患者を診て、それでも対応できない場合は、連携している診療機関に移している。

N 市の A 病院の総合周産期母子医療センターの場合、ベットが満床でもとにかく母体を一度



受け入れて、受け入れ後に容体が安定したら比較的高度の産科医療に当たる地域周産期母子医療センターなどに搬送する仕組みを作っているなどの事例を紹介し市長の見解を求めた。

質問に対し、市長は「救急患者をいったん医療センターで受け入れ転送してもよいと思っている」と医療センターが「救急患者を断らない」病院としてその役割を果たしていく考えを示した。

### 救急隊と病院との連携

救急隊と病院との連携について、政府が、搬送先病院が速やかに決まらないことや、救急隊が現場に到着してから病院に収容するまでの時間が延びていることから、患者の容態に応じた搬送先医療機関リストの作成などを、県に義務付ける消防法の改正を閣議決定したこと。

県が、緊急患者受け入れ迅速化のために、救急隊と病院の間に立ち、搬送のためのコーディネートを実施する緊急コーディネートを導入することを紹介し市の対策を求めた

消防局は、関係機関、医療機関と協議し緊急患者を迅速に搬送する対策を早急に講じたいと答弁した。